

ふたかみ NEWS プチトマト

はびきの園 物品販売再開！！

新型コロナウイルスの影響により、2 か月ほど販売を行う事が出来ませんでしたが、再開する事が出来ました！！
天候にもよりますが、葛井寺や道明寺、滝谷不動で販売を行っていますので、ぜひ遊びに来てください！！お待ちしております！！



社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0856 大阪府羽曳野市白鳥 3-16-1 木村ビル 4 階 TEL 072-959-3221 FAX 072-957-1604

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者：石本悦二 編集責任者：関口奈緒美



はびきの園商品販売！！



素材に国産ひのきを使用し、一つ一つ手作りする事で木の優しい手触りをお届けしています。小さいので持ち運びにも便利！外出先でも遊んでいただけます。プレゼントにいかがですか？

古墳箸置き

1 個 300 円 (税込)



羽曳野市役所前
の大蔵屋さんにて販売中！！
ぜひ！おひとつ
手に取ってみて
ください！

ご注文は072-959-3264まで

HB TAKE OUT

カレー ¥670

(テイクアウト価格)



ビーフライス ¥670
サンドイッチ ¥620~

カップ ¥1,100



ご注文は 072-958-2700 まで

物品販売☆イベント

はびきの園

18 日 (土) 葛井寺 10:00~12:00

25 日 (土) 道明寺天満 10:00~12:00

28 日 (火) 滝谷不動 9:00~14:00

※感染症予防のため中止する場合がございます。

■後援会入会及び更新の方々 (敬称略)

【2020年度6月】

- 下岡保 松永匠 高橋伸之 西田佐知子 川原茂登志 井之内康史 谷秀樹 高島香織 駒澤任紀
松本茂樹 川井哲二 以上 5 口
- 西岡美紀 山田恵 以上 4 口
- 森邦子 谷佐代子 以上 3 口
- 越野玲子 安宅睦子 白石義男 白石恵子 森恒子 城裕久子 石田幸造 土井寛子 戸田奈保
梅田明 以上 1 口
- 寄附金 谷佐代子 様 / 佐々木有馬 様

■ボランティア であい 様/畑英作 様/細川直幸 様/松倉和代 様/垣内秀夫 様

■アルミ缶回収 (6 月分) 1,241 kg

ありがとうございました

◆2020 年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

法人では用地を確保し、暮らしの場の充実をはかっていきます。

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費：1 口 3,000 円 団体会費：1 口 10,000 円】 郵便振替口座：00940-5-325894

『平和への思い』

今から10年ほど前。沖縄への修学旅行の事前研修として、元ひめゆり学徒隊の与那覇 百子さんの戦争体験を実際に聞く機会がありました。与那覇さんは穏やかな表情と口調で、当時の様子を語り始めました。

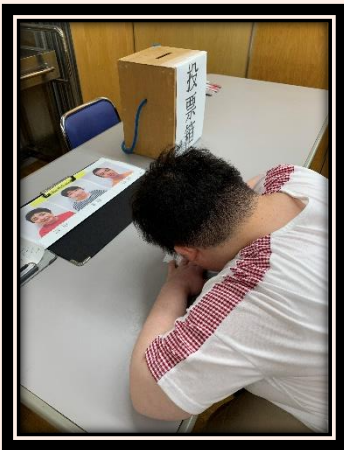
ひめゆり学徒隊が結成された当時、与那覇さんは17歳。最初はずっと戻るものだと思っていたこと、配属されたのは狭い壕で、劣悪な環境の中でだけがをした兵士たちの看護にあたっていた事、別の壕に伝令に行った際に自分のいた壕が爆撃に遭い、一緒に配属されていた上級生が亡くなったこと、解散命令が出てから学友数名と一緒に戦場を彷徨ったこと、一緒に逃げたれて亡くなったこと……あまりにも悲惨な体験を、与那覇さんは時折涙を浮かべながら私達に語ってくださいました。高校生だった私は、そのあまりに凄惨なお話に強いショックを受けたのをはつきりと覚えています。与那覇さんのお話の中で特に印象に残ったことは、戦争に

動員される前の彼女にも、当たり前の生活があったということ。ひめゆり学徒隊の彼女達に通っていた学校は、教員を目指す人たちの通っていた学校でした。戦争に巻き込まれる前には、彼女達も部屋に打ち込んだり、夢に向かって勉学に勤しんだり、今の私達と変わらない生活があったのです。そんな当たり前の生活が、戦争によって徐々に失われ、夢を奪われ、遂にはたくさんの命が奪われていきました。戦争は急に始まるものではなくて、徐々に体制や生活が戦争へとシフトしていくのだと、与那覇さんのお話を聞いて強く感じました。

（波多江望）

自治会選挙

今年度も自治会長を決める時期がやってきました！新型コロナウイルスにより選挙が2か月ほど遅れてしまいましたが無事に行うことが出来ました。毎年恒例の各班を回る選挙演説はできませんでしたが各立候補者は自身の思いを伝えていました。選挙は大接戦の中から今年度の自治会長が決まりました。今年度1年よろしくお願いいたします。



健康診断

6月25日(木)に、株式会社チエックアップシステムさんをお願いし、はびきの園とハピバールのなかま対象に、年に一度の健康診断を行いました。

健康診断当日、ドキドキしているなかまも、職員と一緒に受けるなかま同士で励まし合いながら受診していました。チエックアップシステムさんも長年なかまを知って下さっているのでもスムーズに健康診断を進めて下さいました。

障害のあるなかまにとって、病院を受診することも大変なことです。医療従事者の方の白衣を見ただけで不安になってしまふなかまもいます。この年に一度の健康診断は、なかまの状況の経年的な把握が出来たり、数値を基に予防的な対応を考えていける大切な機会となっております。「職員と一緒に受けられる！」というなかまとの関係作りを大切にしながら、今後もしっかりしていきたいと思えます。（田邊）



やまゆり園事件の判決から思う事

2016年7月26日に起きた「やまゆり園」事件の判決が3月16日に横浜地裁でおりました。犯人植松聖が判決結果を受け入れたので死刑が確定しました。しかし、多くの尊い命が奪われた事件を、犯人に厳罰を与えて終わりにしている事が残念でなりません。残忍な犯行に至った経緯や、犯人が「障害者是不幸を作る事しかできない」と言ったその思想がどのように形成されたかについては裁判で触れられなかったそうです。仮にも一度福祉を志した人が、どのような経過でこの思想を持ったのかを検証する必要があったはずです。

生産性一辺倒の社会の中で、困った事があれば自分の責任になる。勉強ができない事、障害があつて生きにくい事、貧困である事などすべて自分の頑張りや足りない事にされてしまう社会の中で、幸せである事を望むことができなくなっているのではないのでしょうか。福祉現場の中にも同じような価値観が根を下ろしつつあるように感じま

（関口）

給料の取り組み

ハピバールには、今年度、支援学校を卒業したばかりの仲間が4名加わりました。4月、5月とお給料をもらいそのお給料をどうやって使おうかという話し合いをしました。長年勤めている先輩にも話し合いに参加してもらい、散髪に行ったり、ジュースを買ったりしているとの意見を聞きました。

みんな、給料を使う事がないようで、お母さんに預けているとの事。そこで、給料を使う取り組みを行う事になりました。買い物したい、ハピバールのメニューを食べてみたいと色々な意見がでたなかで、6月19日にイオンモール藤井寺へ買い物と昼食を食べに行く事になりました。何食べる？とフードコートをまわってお店を見て回りました。大好きな餃子を見つけて、『餃子食べる』とすぐに昼食を決める仲間もいれば、

購入したクリアファイルに連絡帳を入れて使うと話してくれた仲間もいました。また行きたいねえ、行けるようにお仕事頑張ろうと振り返りとこれから頑張りを話し合い、初めての給料の取り組みを終了しました。（大伴）



どれ食べようとなかなか決まらない仲間もいました。働いてもらった給料で食べるご飯は格別に美味しいとの事。食事の後は、買い物。アイド